

あがつま



『わたしたちは見えるものではなく
見えないものに目を注ぎます。
見えるものは過ぎ去りますが、
見えないものは永遠に存続するからです』

(コリントの信徒への手紙Ⅱ 4章18節)

♪ 賛美歌を歌おう④ 『イエス君はいとうるわし』

(讚美歌166番)

花鳥風月的な美しさを持つこの賛美歌ですが、作詞者、作曲者共に不明です。北ドイツのミュンスタールの町に、一六六二年の日付のある手稿が残されていきますので、少なくともそれ以前に作られたと考えられます。かつてはドイツの十字軍が聖地に向かうときに歌った「十字軍の賛美歌」と呼ばれていましたが、今では誤りだとされています。

19世紀半ばに、民謡収集家のホフマン・フォン・ファラー（現在のポーランド南部地方）を旅行したとき、乾草造りの農夫たちがこの歌を歌っているのを聞いて記録しました。それが出版されると、たちまちドイツで愛唱されると、

ようになり、いくつかの賛美歌集に収録されました。その後、英米に、そして日本にも伝わりました。日本では賛美歌(1931年版)に収録されてから、今も広く愛唱されています。

ドイツのアニメ映画「アナと雪の女王」(2013年)のオープニング曲、ノルウェーの音楽家フローデ・フェルハイム(1959)が作曲した『Eatmen Yuelie』(大地の歌の意)には、『イエス君はいとうるわし』のメロディーが使われています。映画では宗教色を薄めるためなのでしようか、アレンジがされていますが、よく聞けば、おぼろげながらもこの賛美歌の旋律を見つけることができる…かも知れません。



(稲垣)

